

「多次元押出ブロー成形法」が期待される

「ロマン」を大切に

成形加工 独自のものを持つこと

五面からつづく

本紙 ロマンが持てる企業でもね。うちの連中はロマンを大切にしたいと考えているので、やりたいということですね。
中川 ただ、現実にはやろうとすると、強いお客さんに反抗しようというのでは決しないので、すけれども、精神的にはイッパンに近いものにするためにはなにかを持っていなければいけない。それができないことにはどうしても押さ

やりがいある苦勞

これから開発に頑張る！

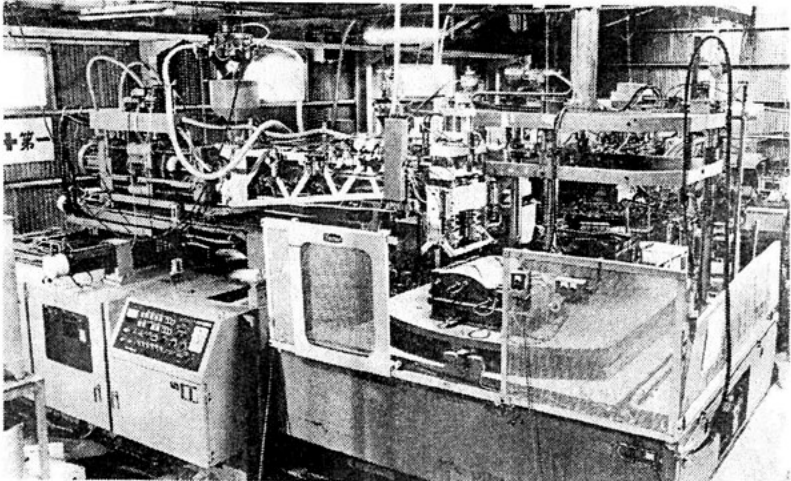
小松原 お正月にある家電メーカーの方から聞いたんですけれど、商品を開発する場合に文化の文を忘れちゃいけない、それから新、美、構造の機、それと感性、感受性を忘れちゃいけない、感性は文化に通じる、そのサイクルで家電製品を考えないと受けないというんです。構造一点張り

中川 テリトリとか、そういうのはたんだんなくなっていくと、思いますね。それで自由競争になって、ロマンのある開発を続けていきたいと思えます。

佐藤 私も社長とまったく同感

江崎 ロマンのある苦勞はやりがいがあります。まだまだ頑張ります。

佐藤 社長流にいうと、やってやれないものはないのだから……



無限の可能性を秘めた「多次元押出ブロー成形装置」

合わせた技術開発はやる気のサイ
本紙 佐藤さんと江崎さんにも
ありがとうございます。おかげで
ありがとうございます。

本紙 どうも長時間にわたって
ありがとうございました。
(おわり)

ね。きまぐれに飛躍が期待される「多次元押出ブロー成形法」